

前 言『道教と宗教文化』刊行委員会 I

道教と中国の倫理——善書における心意主義の展望——	秋月 觀暎	1
淮南中篇と淮南万畢	楠山 春樹	
道教の成立と讖緯思想	安居 香山	45
後漢時代に於ける『山海經』——現行本の成立の問題について——	竹内 康浩	27
『老子想爾注』の成立について	小林 正美	81
『淨度三昧經』に見える転明開悟の思想——佛は實に人を度さず、人自ら度るのみ——	中嶋 隆藏	103
『五符序』形成考——樂子長をめぐって——	山田 利明	122
『真誥』に説く「静室」について	石井 昌子	136
『清淨』という語についての一考察	細川 一敏	154

司馬承禎について	今枝 二郎	170
唐王朝の創業と図讖——『道僧格』の妖言惑衆の規定との関連において——	諸戸 立雄	190
敦煌本『孟蘭盆經』雜感——孟蘭盆念と目連麥文に關して——	金岡 照光	209
唐都青竜寺詩初探	植木 久行	225
羅公遠と民間信仰	遊佐 昇	245
『海空經』三則——七宝莊嚴・十転の思想と益州至貴觀黎君碑を中心にして——	砂山 稔	264
全唐詩「戸」考	塙見 邦彦	285
唐・玄宗『道德真經』注疏における「妙本」について	麦谷 邦夫	299
『医心方』養生篇の道教的性格	坂出 祥伸	315
陳搏と麻衣道者——「若水見僧」逸話をめぐって——	塙見 邦彦	315
『桑憲伝』と『五代史記』士人論	小林 義廣	332
全真教の『般若心經』受容について——その理由と経路	福井 文雅	349
馬丹陽の出家をめぐって	蜂屋 邦夫	365
天蓬神と天蓬呪について	劉 枝萬	387
全真教の展開——モンゴル政権下の河東の場合	藤島 建樹	425